

8/28. 旗

急性期病棟 増える介護ケア

要介護高齢者の救急搬送。
入院が急性期病棟で増える
方、看護師不足は深刻です。

岸田政権は看護師の一部業務
(タスク)を他職種に移管

(シフト)したり共同化(シ
フ)したりして負担を軽減
する必要がありますが、実態はどう
うでしょうか。

多くの病院で看護補助者
(看護助手やナースエイドな
ど)の呼称)が勤いていま
す。ただ、看護師の仕事をべ
ておシフタ・シフトする以上
はできません。

業務移管より増員こそ

看護師数が充足されない場合
の労働者への影響
(複数回答)

夜勤回数の増	64%
休みが取れない	48.6%
休憩が取れない	46.3%
長時間労働	44.6%
母性保護に関する時間外や 深夜業免除ができるない	14.3%

※日本医労連調査から作成

せんべいきだと通っています。
医療団体の委員会から聞いたの
間、「高齢者は痛みに対し感
受性が鈍くなる。診断の結
果、心筋梗塞だったという
とも重々ありえる」「高齢者
救急を一括(べく)りたする
のは非常に危険だ」という懸
念が相次いでいます。

国責任持て

改善事業が始まる前の20年
時点でも、看護師で最も就業
者数が多い40代前半の人は、
月収が大卒者の全産業平均41,
年2月から看護・介護職員ら
の賃金を上げる処遇改善事業
を始めたものの、対象は就業
中の看護職員の3分の1だけ
に限定し、看護補助者も対象
にいません。看護補助者も対象
外。対象病院の判断で対象外
職員を事業に加えることがで
きますが、補助金や診療報酬
は増えません。賃上げ額は一
つやう低いなります。

実際に今年の賃上げ状況は
どうか。日本病院会など3団
体の調査では、従業員すべて
の基本給を一律に引き上げる
「ベースアップ」は病院職員
で平均0・4%（月12万円）
にすぎません。全職業中
均は2・1%（月6万86
円）にいたりますが、それ
不足を口実に、急性期病棟の
統廃合・病床削減を「加速さ

せんべいきだと通っています。
人手不足に対し、日本医労
連の森田進書記長は、看護師
として働いていない65歳以下
の有資格者で70万人いると宣
われる「潜在看護師」の復職
支援が重要なと指摘します。
「離職理由は子育てや介護
などさまざまであるが、職場に
戻りやすくなるよう処遇や労
働条件の改善が根本的に必要
です。国が責任を持って行え
ば、人手不足の解消は難しく
なくなります。逆に、ま
ででは離職者の増加が続く」
と森田さん。

「人手不足だと書いて医師
や看護師の仕事を他職種に補
わせるやり方は、安全性の面
からも懸念されます。医師や
看護師の大変な増員が必要で
す。そつすれば、しっかり行
き渡ったケアができまず」
(おわり)